

北近畿におけるステークホルダーの 戦略と協働について

Strategy and Collaboration with Stakeholders in North Kinki Region

内海康雄¹ 玉田和也² 加登文学² 高橋正憲³ 歳弘浩三⁴ 阿部博則⁵
Yasuo UTSUMI, Kazuya TAMADA, Yoshinori KATO, Masanori TAKAHASHI,
Kozo TOSHIHIRO and Hironori ABE

1. はじめに

1.1 背景と目的

高専は全国各地に 57 校 61 キャンパスが配置されており、技術者育成と共に地域貢献は使命の一つとなっている。すなわち地域の課題を解決するソーシャルドクター、また地域振興を図るソーシャルイノベータとしての役割を持つⁱ⁾。

北近畿地域においても、少子高齢社会となり人口減少が続いている。舞鶴高専は、2018 年 12 月に舞鶴市、KDDI(株)と三者協定を結びⁱⁱ⁾、防災、IT 漁業などを通じて地域振興に努めてきている。舞鶴高専の役割をまとめて示しており¹⁾、より広い地域への展開を始めている。

例えば、小規模河川の水位監視・予測システムを由良川流域の小河川への展開、2019 年から開始した小学 5 年生～中学 3 年生を対象とする優れた理系人材を育成する JST ジュニアドクター育成塾の継続、2022 年度からは地域振興を担う人材育成として推薦入試における地域創生特別枠の設置などを行っている。

京都府北部の 5 市 2 町(舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)では、それぞれの政策・施策と共に、地域振興に努めるために京都府北部地域連携都市圏推進協議会(会長舞鶴市)を設立するなど、連携して動いている。ここ 2～3 年の間に、これら自治体の 5～10 年程度の計画、同協議会の計画・戦略が出そろってきている。

ここでは、北近畿地域を対象として活動している産公学民金報のステークホルダーの計画・戦略を分類・整理して得られた全体構造から、種々のプロジェクトを考慮して、地域が自ら課題を発見して解決する持続的な活動方法の提案を目的とする。

これらにより、地域のステークホルダーの協働

のあり方、地域の強みを活かせるテーマの選択などを適切に行えると共に、これらの情報により今後の連携・協働がより推進できると考えている。

1.2 方法

北近畿の全体あるいは一部を主な活動範囲とする産公学民金報のステークホルダーについて、その理念・方針と活動内容を調査する。

各団体の理念や方針、自治体の戦略や政策などをホームページ等から収集して、内容のリストを作成する。掲げられている内容を分類・整理して、それらを全体的に俯瞰できる枠組みを提示して構造化する。

これらを基にして、北近畿地域の全体の方向性、SDGs との対応について述べた上で、地域が持つ方針の実現と課題を解決する地域プラットフォームの構築などの仕組みについて考察する。

2. 対象自治体・機関の将来戦略

2.1 対象とする地域

北近畿 5 市 2 町と隣接する兵庫県豊岡市、福井県高浜町を含めて対象とする。経済圏、生活圏のほか、有害鳥獣害対策など行政区にまたがる具体的な課題を含めて考える必要がある。

対象地域を図 1 に示す。個別の市町村の人口は 8 万人以下であり、全体で約 30 万人である。

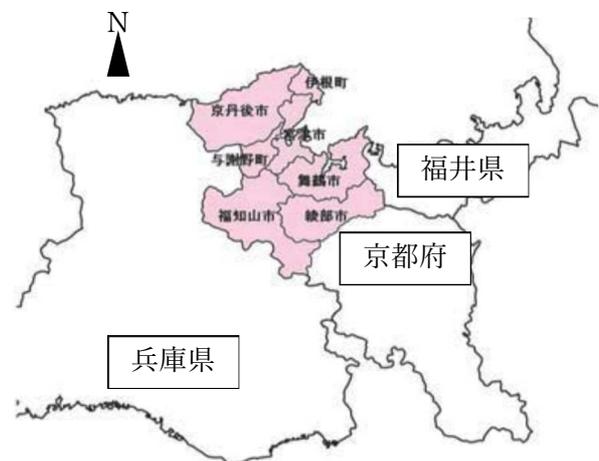


図 1 対象となる北近畿北部

1 舞鶴工業高等専門学校 校長
2 舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科 教授
3 一般社団法人 PMI 日本支部 アドバイザー
4 グリーンコンサルティングサービス 代表
5 KDDI 株式会社 ビジネス IoT 推進本部・シニアエキスパート

中山間地と沿岸の集落が多数存在しており、人口減少等が続いている。

2.2 各地域の概要

対象地域の自治体ごとの人口²⁾、経済活動別市町村内総生産³⁾を表1に示す。京都府の5市2町全体の人口は30万規模となる。総生産は合計で1兆2,544億円となる。産業構造については、地域経済循環分析により調査した結果では、第1次産業から第3次産業までを網羅している単独の自治体はない。6次産業化などを考えると地域が連携することが考えられる¹⁾。

高度医療施設の維持と由良川流域の水害などの維持・管理に大きな資源を要することを考え合わせると、これらの地域が連携して地域振興を行う必要があると推測される。

2.3 北近畿地域を対象とする機関の将来戦略

北近畿に位置する京都府5市2町全体とそれより広域を対象とする京都府北部地域連携都市圏推進協議会などの産公学民金報のステークホルダーを調査した。表2-1/7~7/7にそれらのステークホルダーとしての種別、機関名称、全体の方針・経営理念、URL、掲げられたあるいは推測されるビジョン、活動・施策等のリスト、産学協同のシステム・窓口などの属性を示す。URLは2021年9月時点。

2.4 各自治体の将来戦略の特徴

自治体の政策・施策等は、その作成過程でパブリックコメントやアンケート調査など、住民への聴き取り、議会・委員会等での審議を経ており、住まう人々の声を反映していると思なせる。また、地域で取り組むべき課題と将来の方向性を示す。

3. 将来戦略の分類と整理

3.1 4つの分類及びまとめとしてのQOL

地域における課題を、少子高齢社会、安全・安心、環境・エネルギー、そして持続可能性という4つの観点から見て、方針・政策等を色分けして、表2中の活動・施策等の列「活動・施策等のリスト」に示す。これらは地域の課題への対応である

と共に研究開発すべき課題の候補とみなせる。全体のまとめとして位置付けるQOL(Quality Of Life、生活の質)を赤色で、複数に関わるものは水色で表す。

すべての自治体について、4つの観点で政策が分類できる。例えば、少子高齢社会は人口減少、高齢者の移動手段など、安全・安心は健康、介護、防災など、環境・エネルギーは、地球温暖化、廃棄物など、そして持続可能性は、人材育成、スタートアップなどが対応する。これらは解決すべき課題であり、それに応じた研究・開発の要素が含まれることがある。

またすべての自治体の共通項として、QOLが考えられる。「住みやすい」、「育・職・住が充実」などのキーワードをまとめて捉えている。

3.2 達成度の評価方法について

前出の4つの観点については、それぞれの達成度の評価法として、さまざまなKPI(Key Performance Index)が示せるので、各自治体が幾通りか掲げている。例えば、5年以内に1,000名の人口増加などである。

一方で、QOLを評価することは難しい面がある。聞き取り調査やアンケート調査により、地域に住む人々の評価が行われることがある。近年は住まう建物やコミュニティをWELL(WELL Building Standard)を用いて評価する方法がある⁴⁾。「ウェルビーイング(Well-being)」とは、病気でない、弱っていないということではなく、精神的、肉体的、社会的にすべてが満たされた状態の概念とした上で、「空気、水、食物、光、運動、温熱快適性、音、材料、こころ、コミュニティ」の10のカテゴリーで評価する。

なお地球温暖化に関しては、人が住まいかつ働く場であり、CO₂排出量の1/3を占める建物の視点からGBA(Green Building Alliance)ⁱⁱⁱ⁾、GBJ(Green Building Japan)^{iv)}などが活動している。具体的な認証制度としては、都市のスケールまでをカバーするLEED^{v)}やCASBEE^{vi)}などがある。

表1 北近畿自治体の状況

| | 人口(人) | | 市町村内総生産 (百万円)2017年度 |
|------|-----------|----|------------------------|
| | 2020.10.1 | 現在 | |
| 舞鶴市 | 80,336 | | 401,444 |
| 綾部市 | 31,846 | | 153,824 |
| 宮津市 | 16,758 | | 65,586 |
| 京丹後市 | 50,860 | | 174,346 |
| 福知山市 | 77,306 | | 394,266 |
| 与謝野町 | 20,092 | | 58,779 |
| 伊根町 | 1,928 | | 6,203 |
| 合計 | 279,126 | | 1,254,448 |



図2 SDGsの17のゴール

表2 地域のステークホルダーの属性 1/7

| 主として対象となる地域 | ステークホルダーの種類 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト（研究開発課題の候補） | |
|-------------|-------------|---|--|---|---|---|---|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | 地域課題の分類に基づくターゲット | URL |
| 北近畿を主とした広域 | 1 | 産 公益社団法人 京都府工業会 | ・地元京都の製造業の振興と地域産業の発展 ・活動指針 1.業会全体の発展を通して京都産業の振興、発展をはかります。 2.新時代の企業活動に役立つ実践的事業を推進します。 3.関係諸機関との連携を深め、情報発信機能の強化をはかります。 | https://www.kyokogyo.or.jp/ | ものつくりによる地域発展 | 交流・広報 人材育成 産学公連携 国際 中堅・中小企業 環境 労働安全衛生 地域連携 | https://www.kyokogyo.or.jp/ 事業一覧 |
| | 2 | 産 公益財団法人 京都産業21 | われわれは、顧客とのコミュニケーションを最も大切に、あらゆる資源の有効活用を図り、中小企業の企業活動に真に役立つ質の高いサービスを提供することにより、京都産業の発展に貢献します。 | https://www.ki21.jp/aboutus/ | この法人は、産学公の連携のもと、創業や中小企業の技術及び経営の革新、新事業の創出など様々な局面における技術開発、人材育成、市場開拓、資金調達など多様な事業活動を総合的に支援し、もって京都産業の振興に資することを目的とする。 | (1) 情報技術活用の支援に関する事業 (2) 技術開発の支援に関する事業 (3) 受発注取引のあっせん等市場開拓及び適正化に関する事業 (4) 経営及び技術に関する相談、調査並びに情報の収集及び提供に関する事業 (5) 人材育成の支援に関する事業 (6) 投資、債務保証並びに資金の貸付及び設備の貸与に関する事業 (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 | https://www.ki21.jp/aboutus/ |
| | 3 | 公産 一般社団法人 京都知恵産業創造の森 | 知恵の交流と融合により新たな価値の創造を図るとともに、産業施策を戦略的に推進し、京都経済の発展と活性化に資する。 | https://chiemori.jp/ | 産業施策による経済の発展 | 交流と協働による新たな価値創造の推進 産業施策の戦略的な推進 産業人材の育成支援 産学公連携の推進やスマート社会等の実現 関係団体との連携による産業振興等の推進 | https://chiemori.jp/ |
| | 4 | 公 大丹波観光推進委員会 京都府と兵庫県にまたがる7つの市町（福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町、丹波篠山市、丹波市） | 京都府と兵庫県にまたがる大丹波エリアの魅力あふれる人々を通じて、大丹波が世界に誇る文化・伝統・観光・食・ものづくりなどを発信しています。 | https://marugoto-daitamba.jp/%E5%A4%A7%E4%B8%B9%E6%B3%A2%E3%81%A8%E3%81%AF | 6市1町が「大丹波」として連携し、観光や特産品などの魅力発信を行っています。 | | https://marugoto-daitamba.jp/%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%88%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97 |
| | 5 | 公 京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言（京都府5市2町） | 5市2町それぞれが有する強みを活かし、連携と協力により役割分担と機能強化を図るとともに、公共交通等のネットワークの利便性を向上させることで、京都府北部が一つの経済・生活圏を形成し、都会にはない豊かで文化的な生活環境を有する30万人連携都市圏の実現を目指しています。 | https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000003/3312/renkeibizyon.pdf | 京都府北部地域の創生を実現するための指針として策定した「京都府北部地域連携ビジョン」 | 観光分野 産業分野 移住・定住分野 教育分野 行政サービス分野 エネルギー分野 公共交通ネットワーク分野 | https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000003/3312/renkeibizyon.pdf |

表2 地域のステークホルダーの属性 2/7

| 主として対象となる地域 | ステークホルダーの種類 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト（研究開発課題の候補） | | |
|-------------|-------------|------|---|--|---|---|---|---|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | | URL | |
| 北近畿を主とした広域 | 6 | 公 | 京都府中丹広域振興局 京都府と中丹地域の地域振興・「田舎暮らし」「まちなか暮らし」「二地域居住」など、一人ひとりの事情と希望に応じた多様なライフスタイルが実現できる地域 ・農林水産業から製造業、サービス業まで様々な産業が活発に行われ、働き方も自営から就業まで幅広い選択ができる地域 ・若者がしっかり地域に定着し、子どもから高齢者まで住民が生き生きと暮らす中で、経済活動や地域活動の好循環が、更なる移住・定住につながる持続可能な地域 | http://www.pref.kyoto.jp/chiikishinko/koiki/index.html http://www.pref.kyoto.jp/chutan/kyoshin/1293519953396.html | 掲げられた20年後(2040年)に実現したい姿は、心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を楽しみ、海・里山・まちを舞台に求める暮らしが実現できる地域を | (1)「育・職・住」が充実し若者が定着したくなる持続可能な地域づくり (2)「もうひとつの京都」の推進による交流の拡大と関係人口の創出 (3)国土強靱化の推進による災害に強い地域づくり 留意事項 ・ヒト・モノ・情報等の交流が地域や国境を越えて活性化するなどグローバル化の進展 ・技術革新の進展（AI（人工知能）、ICT（情報通信技術）、IoT（モノのインターネット接続）等） ・価値観やライフスタイルの多様化 ・地域の産業や社会基盤、地域コミュニティを支える人材の不足と「共助」の重要性増大 ・集落機能維持が困難な地域の増加と地域内の移動手段確保の重要性増大 ・人生100年時代の到来による独居高齢者の増加 ・社会資本の老朽化の進行 ・自然災害の発生（南海トラフ地震、気候変動の影響による極端な降水の増加等） | http://www.pref.kyoto.jp/shinsougoukeikaku/documents/3chiiki.pdf | |
| | 7 | 公 | 京都府丹後広域振興局 京都府と丹後地域の地域振興・安心・安全な地域 大規模自然災害等にも対応できる地域強靱化の取組が進み、誰もが安心して健康に生き生きと住み続けることができる「安心・安全な地域」 ・稼げる地域 観光、ものづくり等の地域産業や農林水産業などの基幹産業が更に発展するとともに、新たな産業が創造される「稼げる地域」 ・誰もが活躍できる地域 丹後に住み、関わる一人ひとりがそれぞれの力を発揮しながら地域産業やコミュニティを担う「誰もが活躍できる地域」 | http://www.pref.kyoto.jp/chiikishinko/koiki/index.html http://www.pref.kyoto.jp/tango/kikaku/14800003.html | 掲げられた20年後(2040年)に実現したい姿は、安心して「元氣」に住み続けることができ、希望が持てる夢が実現できる丹後地域 | (1)住み続けることができる安心安全な地域づくり (2)稼ぐ力の強化による産業振興 (3)地域を支える人材の確保・育成 | http://www.pref.kyoto.jp/shinsougoukeikaku/documents/3chiki.pdf | |
| | 8 | 学 | 北近畿地域連携機構（福山山公立大学） | 北近畿地域の発展に寄与するために、3つの原則（行動・地域貢献・リスク防止）のもとに活動します。 | https://www.fukuyama.ac.jp/kita-re/ | 「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」として、地域貢献事業、地域協働のさらなる強化・拡充を図ります。 | 第一に、研究部を設ける。 第二に、市民学習部、まちかどキャンパス部を設置する。 第三に、地域連携における文理連携の充実を図る。 なお、下部組織の北近畿地域連携会議に実績ありex.高齢者の免許返納 | https://www.w.fukuchiya.ma.ac.jp/kitare/img/about/policy02.pdf |
| | 9 | 民 | 内閣府NPOポータルサイトによると、京都府のNPOは1,468件 | | https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/list?goc[]=026&goc[]=112 | | | |
| | 10 | 金 | 京都銀行 | 「地域社会の繁栄に奉仕する」豊かな地域社会の創造と地元産業の発展に貢献することを当行の基本的な使命とし、地元京都における最大のリテールバンクとして、地域社会の皆さまに真にお役に立てるよう全力を尽くします。 | https://www.kyotobank.co.jp/about/policy/index.html | 「全従業員の満足度向上」と「地域・お客さまの満足度向上」との両輪での好循環をもって、京都銀行グループが引き続き力強く成長・発展していく。 | A. 事業領域を銀行業から総合金融ソリューション業へイ、対面サービスとデジタルサービスのベストミックスウ、従業員が成長し活躍できる更に充実した環境の整備工、専門人材・多様な人材の育成・確保 | https://www.kyotobank.co.jp/news/data/20200323_2048.pdf |

表2 地域のステークホルダーの属性 3/7

| 主として対象となる地域 | ステークホルダーの種類 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト（研究開発課題の候補） | | |
|-------------|-------------|------|--|---|--|--|---|--|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | 地域課題の分類に基づくターゲット | URL | |
| 北近畿を主とした広域 | 11 | 金 | 京都銀行 「地域社会の繁栄に奉仕する」 豊かな地域社会の創造と地元産業の発展に貢献することを当行の基本的な使命とし、地元京都における最大のリテールバンクとして、地域社会の皆さまに真にお役に立てるよう全力を尽くします。 | https://www.kyotobank.co.jp/about/policy/index.html | 「全従業員の満足度向上」と「地域・お客さまの満足度向上」との両輪での好循環をもって、京都銀行グループが引き続き力強く成長・発展していく。 | 地域課題の分類に基づくターゲット T 1 少子高齢社会 T 2 安全・安心 T 3 環境・エネルギー T 4 持続可能性の担保 総合的な目標 → ビジョン QOLの向上 複数に関係する項目 | https://www.kyotobank.co.jp/news/data/20200323_2048.pdf | |
| | 12 | 金 | 京都北都信用金庫 「ほくとしんきん」 経営理念 1. 地域社会の発展に貢献する 2. 誠実と親切を旨として会員顧客の繁栄に寄与する 3. 相互信頼のもとに職員家族の福祉増進に努める 基本方針 1. 健全経営 2. 独自性の発揮 3. 地域振興 | http://www.hokuto-shinkin.co.jp/company/company02.shtml | 健全な経営と地域社会への貢献、会員ならびに中小企業の繁栄のために鋭意努力を重ね、一層の経営基盤の確立とお客様の多様化するニーズに的確にお応えできるよう最善の努力を払ってまいり所存であります。 | 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮 2. 地域の面的再生への積極的な参画 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信 4. 働き方改革 | http://www.hokuto-shinkin.co.jp/company/company01.shtml | |
| | 13 | 報 | 京都地域メディアネットワーク 京都府と地域メディア、双方で地域からの魅力をもっともっと情報発信していきます。 | http://www.pref.kyoto.jp/koho/l-media.html | | | | |
| | 14 | 報 | 両丹日日新聞社 何事も中立かつ客観的な報道を心がけ、真実を追究する姿勢を大切にしています。 わたしたちは地域の応援団であると強く意識して取材をしている。 | https://www.ryoutan.co.jp/company/ | 地元の人が「私の住むまちは、こんなまちです。どうぞ一度おいで下さい」と、名刺代わりに出せる新聞。 | ・地域にとってうれしいこと、楽しいこと、地域が元気になる話題を積極的に取り上げ、地域にとってマイナスの話題は必要最小限に扱う。 ・関連団体として、京都府地域新聞協会、京都府北部地方新聞連合会、両丹アド社（広域紙「TOWNTOWN」） | | |
| | 15 | 報 | 北近畿経済新聞 「古里の発展 読者と共に」 | https://kikakinkikeizai.jp/ | 地に足をつけて経済活動を行っている私たちこそが古里の雇用を守り、古里の発展を支えていかなければなりません。その方策を読者の皆様方とともに考えていけるような紙面づくりができれば、これに勝る喜びはありません。 | ・新聞発行 ・会社案内などパンフレットの取材・製作業務 ・対象範囲は、京都府北部5市2町、兵庫県丹波市・丹波篠山市と但馬地域、福井県嶺南西部地域の北近畿一円 | | |
| 舞鶴市 | 16 | 産 | 舞鶴商工会議所 地域の商工業の推進に力を注ぎ、国民経済の健全な発展に寄与する。 | https://www.maizuru-industries.com/index.html#news | 公共性 地域性 総合性 | ・地域を基盤として商工業の発展を図ります。 地場産業、商業の活性、組合・協会の育成、イベント情報、観光物資の振興、広報活動、イベントの補助、共済制度 ・会員の個人・法人を問わずあらゆる業種業態からなりたっています。 企業の合理化、省力化、有利情報の提供、異業種交流、人材開発、情報交換、インターネット、法律相談、金融相談 あっせん、記帳指導、税務相談、経営相談 | https://www.maizuru.or.jp/guidance/ | |
| | 17 | 産 | 舞鶴工業集積協議会 先駆的に模索と挑戦を通して舞鶴の工業発展の礎となり、地域経済に貢献する。 | https://www.maizuru-industries.com/index.html#news | 大型プラント・産業機械・精密機械に関連する「陸上機械・設備・装置分野への進出」を目指しています。 | 舞鶴の特徴である造船業やガラス製造業で育まれた金属加工技術、ソフトウェア設計技術、組立調整技術を生かし、さらなるメカトロ技術や設計・開発力の強化に取り組み、あらゆるニーズにお応えできる大型プラント・産業機械・精密機械産地を目指しています。 | | |

表2 地域のステークホルダーの属性 4/7

| 主として対象となる地域 | ステークホルダーの種類 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト（研究開発課題の候補） | |
|-------------|-------------|---|---|---|---|---|---|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | 地域課題の分類に基づくターゲット | URL |
| 舞鶴市 | 18 公 | 舞鶴市 | 次代を担う若者や子どもたちに夢と希望をお年寄りには感謝を～誰もが心豊かに暮らせるまちを目指して～ | https://www.city.maizuru.kyoto.jp/ | 1. 便利な田舎暮らしができるまち 2. 市民（事業所）が元気なまち 3. 住み続けたいと思えるまち、人が集う魅力あるまち 4. 新たな技術を導入した未来型のスマートなまち 5. 多様な連携のもと、持てる資源を効果的に活用するまち | 地域課題の分類に基づくターゲット T 1 少子高齢社会 T 2 安全・安心 T 3 環境・エネルギー T 4 持続可能性の担保 総合的な目標 → ビジョン QOLの向上 複数に関係する項目 | https://www.city.maizuru.kyoto.jp/saisei/000005055.html |
| | 19 学 | 舞鶴工業高等専門学校 | 広く工学の基礎と教養を身につけ、問題発見・解決能力、創造力を有し、地域・社会の発展に寄与できる国際感覚豊かな実践的開発型技術者を育成する。 | https://www.maizuru-ct.ac.jp/ | 教育：（教育理念） 研究：持続可能な社会の構築と人類の福祉の向上に寄与するため、また教育内容を学術の進展に即応させるために研究を推進し、その成果を学生の教育及び社会に還元する 地域貢献：地域に根差した高等教育機関として、学生とともに地域・社会の発展に寄与できる教育研究活動を通して、地域に貢献する | 機械工学 電気情報工学 電子制御工学 建設システム工学 総合システム工学 | https://www.maizuru-ct.ac.jp/ |
| | 20 学 | 近畿職業能力開発大学校 附属京都職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ京都） | ものづくりの基本を習得し、企業の製造現場での最新の技能・技術に対応できる人材の養成 | https://www.jeed.go.jp/location/collection/2.html#6 | 著しい技術革新に対応出来るよう科学技術についての基礎知識と理解力を持ち、応用力を備えた新しいタイプの実践技術者を育成するほか、地域の産業界の求めに応じて多様な教育訓練を実施する。 | 生産技術 電子情報技術 情報通信サービス | http://www.3jeed.go.jp/kyoto/college/ |
| | 21 報 | FMまいづる | コミュニティFM放送事業やマルチメディア情報発信事業を通じ、地域の人的交流や情報発信の活性化を目指し設立された。 | https://75maizuru.jp/ | ・国民の貴重な限りある公共財産である放送電波を使った放送事業をパブリック（公共）メディア事業と位置付け、パブリックメディアが地域住民の公共の福祉の増進に真に有効活用され、持続可能な活気ある地域社会の発展に寄与する。 ・放送番組やメディアコンテンツの開発、制作においては、既成の概念にとらわれず、グローバルかつ、斬新な視点で取り組み、地域社会の視聴者に対し、常に新しい価値観や感動を与えることを目指す。 | ・コミュニティFM放送局設計施工・開局支援コンサルタント業務／放送設備管理業務 ・放送番組／マルチメディアコンテンツ制作、WEB制作インターネット配信事業 ・広告代理店業（FMまいづる総広告代理店） ・イベント企画／運営、司会派遣 ・カフェ運営（五老ヶ岳公園 GORO SKY CAFE nanako） ・物販事業（五老ヶ岳公園 GORO SKY TOWER土産物、海上自衛隊グッズ） | |

表2 地域のステークホルダーの属性 5/7

| 主として対象となる地域 | ステークホルダーの種類 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト（研究開発課題の候補） | |
|-------------|-------------|--------------|--|---|---|--|---|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | 地域課題の分類に基づくターゲット | URL |
| 舞鶴市 | 22 報 | FMまいづる | コミュニティFM放送事業やマルチメディア情報発信事業を通じ、地域の人的交流や情報発信の活性化を目指し設立された。 | https://75maizuru.jp/ | ・国民の貴重な限りある公共財産である放送電波を使った放送事業をパブリック（公共）メディア事業と位置付け、パブリックメディアが地域住民の公共の福祉の増進に真に有効活用され、持続可能な活気ある地域社会の発展に寄与する。 ・放送番組やメディアコンテンツの開発、制作においては、既成の概念にとらわれず、グローバルかつ、斬新な視点で取り組み、地域社会の視聴者に対し、常に新しい価値観や感動を与えることを目指す。 | 地域課題の分類に基づくターゲット T 1 少子高齢社会 T 2 安全・安心 T 3 環境・エネルギー T 4 持続可能性の担保 総合的な目標 → ビジョン QOLの向上 複数に関係する項目 | |
| | 23 報 | 舞鶴市民新聞 | 新鮮な情報を届ける。地域に密着する会社。 | http://maizuru.press.co.jp/about/ | | | |
| 綾部市 | 24 公 | 綾部市 | 第5次綾部市総合計画後期基本計画2016-2020 住んでよかった・・・ ゆったりやすらぎの田園都市・綾部 | https://www.city.ayabe.lg.jp/kikaku/shise/shisaku/sogo/documents/00_gaiyouban.pdf | 1. 市民が輝き共に築くまちづくり 2. 心豊かな人と文化を育むまちづくり 3. 支えあい安心して暮らせるまちづくり 4. 豊かさにとぎわいを生み出すまちづくり 5. 自然豊かで安全なまちづくり | 1. 少子高齢化への対応 2. 産業振興による雇用確保 3. 次代を担う人材の育成 4. 農村集落の活性化と街なかの再生 5. 市民生活における安全・安心の確保 なお、第6次綾部市総合計画及び第2期綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けた取組結果は、 https://www.city.ayabe.lg.jp/kikaku/shise/shisaku/sogo/documents/anke-togaiyou.pdf 京都府北部産業創造センター https://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/nicc_howtouse.html | https://www.city.ayabe.lg.jp/kikaku/shise/shisaku/sogo/documents/00_gaiyouban.pdf |
| | 25 報 | あやべ市民新聞社 | | https://ayabe.city-ni-news.jp/?page_id=575 | | | |
| | 26 報 | FMあやべ（FMいかる） | 生活や娯楽、行政などの身近な話題や役立つ情報などを発信しています。 | https://www.fmikaru.jp/ | | | |
| | 27 公 | 福知山市 | 福知山市総合計画審議会答申 多様性あふれる高次機能都市の実現 | https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/uploaded/attachment/7083.pdf | 1. 誰もが安心して暮らせる 2. 地域コミュニティが機能する 3. 次代の変化に対応する 4. 未来に向けて希望にあふれた福知山市づくり | | |
| | 28 公 | 福知山市 | 福知山市総合計画審議会答申 多様性あふれる高次機能都市の実現 | https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/uploaded/attachment/7083.pdf | 1. 誰もが安心して暮らせる 2. 地域コミュニティが機能する 3. 次代の変化に対応する 4. 未来に向けて希望にあふれた福知山市づくり | | |

表2 地域のステークホルダーの属性 6/7

| 主に対象となる地域 | ステークホルダーの種別 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト（研究開発課題の候補） | |
|-----------|-------------|--------------------------------|---|--|---|---|--|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | 地域課題の分類に基づくターゲット | URL |
| 29 | 学 | 福知山公立大学 (北近畿地域連携機構) | 市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学 | https://www.fukuchiyama.ac.jp/about/characteristics/ | (1) 地域社会を支え、地域社会に支えられる大学 (2) 持続可能な社会の創出に貢献する知の拠点大学 (3) 地域と世界をつなぐ、グローバルズム研究実践の拠点大学 | 地域経営学部 地域経営学科 医療福祉経営学科 情報学部 情報学科 | https://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/faculty01/ https://www.fukuchiyama.ac.jp/faculty/faculty02/ |
| | 報 | FM丹波 | 地域住民個々が有する基本的な人権を尊重し、放送という公共性のかんがみ、特定のイデオロギーに囚われることなく、その報道の自由と中立性を重んじ、もって地域住民のより豊かな生活・文化の向上と地域経済の発展に貢献できるコミュニティFM放送局を目指します。 | http://fukuchiyama.fm-tanba.jp/ | Community福知山に住む心豊かな人々の輪 Active市民・民間企業の活力 Start未来創造への起動 Together地域総ぐるみの連帯感 Large大いなる発展 Enhance福知山が有するあらゆる価値観の向上 | ・福知山市民のより豊かな生活・文化の向上に貢献する。 ・地元商工業の活性化に貢献する。 ・地域に密着した情報発信を通して子供や高齢者にやさしいまちづくりを推進する。 ・福知山市の魅力を更に高め、明るく活気にあふれたまちづくりを提案する。 ・地震・台風などの自然災害時において、市民の生命・財産を守るため、細やかな防災・復旧情報を発信する。 ・その他、地域の課題の解決へむけて広く取り組んでいく。 | http://fukuchiyama.fm-tanba.jp/rinen.html |
| 京丹後市 | 公 | 京丹後市 | 総合計画＝基本構想＋基本計画 自治と協働によって進めるまちづくり | 基本構想 https://www.city.kyotango.lg.jp/top/shisei/keikaku/7/3848.html 基本計画 https://www.city.kyotango.lg.jp/top/shisei/keikaku/7/3846.html | ひとみずみどり市民総参加で飛躍するまち 北近畿新時代へ和のちから輝く京丹後 | ①歴史・文化、地場産業等の地域資源を活かしたまち ②美しいふるさとの自然環境を守り次代に継承するまち ③健やかで生きがいのある暮らしを実現するまち ④安全で安心して暮らせるまち ⑤お互いに支え合い、助け合うまち ⑥次代を担う子どもたちが「学び」を通じて夢をいただき、いきいきと成長するまち ⑦誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまち | https://www.city.kyotango.lg.jp/material/files/group/4/keikaku_0201.pdf |
| | 報 | FMたんご 特定非営利活動法人 京丹後コミュニティ放送 | 人の心と心の交流を通して、丹後半島の魅力を再発見し、地域の発展をともに考え、防災に役立て、発信する力を高めます。 | http://fm-tango.jp/modules/info/index.php/fm-tango/index.html | 平成16年10月、丹後地方に重大な被害をもたらした台風23号の教訓を機に、市民に「安全と安心」の情報を伝える手段として、地域コミュニティ放送局を設立し、日常生活に必要な地域の情報を含む「放送システム」作りを目指して有志のメンバーでスタートしました。 | ■人の心と心の交流を深めます！ 小・中・高校でも、オリジナルの音楽、スポーツ番組などを制作できます。地元への誇りや自信、新しい地域若者文化が、今以上に育ちます。 ■丹後の魅力を発信します！ 山・川・海の様子や保全・整備の様子を伝えることは、丹後の自然を認知し守ることに役立ちます。 ■伝統文化の発展に貢献します！ 地元の民話や地元芸能を取り上げる番組は、伝統文化の保存や発展に役立ちます。 ■地域の安全を守ります！ 台風や地震のときは、地元の道路や川などの詳しい様子を細やかに素早く伝えます。 | http://fm-tango.jp/modules/info/index.php/fm-tango/index.html |
| 宮津市 | 33 | 公 | みやづビジョン2011 住んでよし訪れてよしの宮津 策定中の総合計画 夢と希望があふれ。住み続けられるまち。 | みやづビジョン 2011(2011~2021) http://www.city-miyazu.kyoto.jp/open_img/info/000003853.pdf | 市民との協働を基本に、5つの基本施策に取り組みます。 特に、地域経済力を高めるための「自立循環型社会構造への転換戦略」と人口減少に歯止めをかけるための「定住戦略」 | ①地域経済力が高まるまちづくり (商工・観光・農林水産業) ②若者が定住できるまちづくり (住施策、UIターン・子育て支援) ③安全・安心に生活できるまちづくり (高齢者・障害者福祉、インフラ・防災) ④ふるさとを大切にすまちづくり (教育・スポーツ、文化芸術) ⑤みんなの宝を共に発信できるまちづくり (歴史文化、環境、魅力発信・市民協働) | http://www.city.miyazu.kyoto.jp/www/info/detail.jsp?id=4651 |

表2 地域のステークホルダーの属性 7/7

| 主に対象となる地域 | ステークホルダーの種類 | 組織名称 | 拠点ビジョン | | | 活動・施策等のリスト (研究開発課題の候補) | |
|-----------|-------------|------|--|---|---|---|---|
| | | | 全体の方針・経営理念 | URL | 掲げられたあるいは推測される拠点ビジョン | 地域課題の分類に基づくターゲット | URL |
| 伊根町 | 34 | 公 | 伊根町 みんなで創る ええまち 伊根町で暮らす人、伊根町につながる人など、伊根町に関わる全ての人々が主役となり、「ええまち」を創ることができるよう取組を推進します。 | 第6次伊根町総合計画 2020～2030 http://www.town.ine.kyoto.jp/chosei/keikaku/1586223074619.html | 基本方針 ① 先人から受け継がれた景観・文化・伝統、自然豊かな生活環境の維持継承～ええもん。うみやーもん～ ② 子育てや教育の充実～次代の宝～ ③ 生業の維持発展～熟練と創造～ ④ 支え合いのある地域の絆～共存共栄～ ⑤ 住み慣れた地域で安心して暮らし続ける～ええ塩梅(あんびゃあ)～ ⑥ インフラの整備～生活や産業を支える～ | 地域課題の分類に基づくターゲット T 1 少子高齢社会 T 2 安全・安心 T 3 環境・エネルギー T 4 持続可能性の担保 総合的な目標 → ビジョン QOLの向上 複数に関係する項目 | |
| 与謝野町 | 35 | 公 | 与謝野町 未来への約束～京都与謝野のひとづくり、しごとづくり、まちづくり～ (第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略) 2021～2027 | http://www.town.yosano.jp/www/info/detail.jsp?com_mon_id=534395 | まちや地域に対する愛情(よさの愛)を持った「ひとづくり」を最重要目標とし、よさの愛にあふれたキラリと光る人財による「しごとづくり」「まちづくり」を推進します。 | 基本目標 1 与謝野を愛し、多様性を認め合いながら、新しいモノやコトを創出する地域人財をつくる～よさの愛あふれる「よさの人(びと)」の育成、活躍、そして、チャレンジを応援～ 2 たすけあう地域ぐるみの出産・子育てを実現～子育てするならこのまちで～ 3 持続可能な与謝野の産業をつくる 4 まちへの人の流れをつくる～人と仕事の魅力で、交わる、関わる、集うまち～ 5 地域と地域が連携し、持続可能なまちをつくる (ウ) 京都府北部広域連携事業の推進、自治体間交流 | http://www.town-yosano.jp/www/info/detail.jsp?com_mon_id=534395 |
| 豊岡市 | 36 | 公 | 豊岡市 小さな世界都市 Local & Global City 豊岡市市政経営方針(第1版)(基本構想に基づいている) 2018～ | https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/keikaku/kihonkoso/1002938.html | ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち | 1 自然との共生が徹底されている(防災含む) 2 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている 3 優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる 4 多様性を受け入れ、支え合うリベラルな風気がまちに満ちている 5 内発型の地域産業がすくすくと育てている 6 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている | |
| 高浜町 | 37 | 公 | 高浜町 美しい自然を舞台に一人ひとりが主役になる 暮らしたい、働きたい、訪れたいまち 高浜町 高浜町総合計画2021年度まで、次期計画策定中 | https://www.town.takahama.fukui.jp/page/sougouseisaku/p006244.html | まちのありたい姿 ・子ども、障がい者、高齢者にとって、何でも相談できる窓口ができてうれしい!! ・地場産業の活性化によって生活収入が確保され、安心して暮らすことができる ・ゴミを減量化し、資源を大切にすきれいな町 ・山を守り、木を育てる ・子ども達や若年層夫婦も積極的に活動に参加し、住民同士が世代をこえて、生き生き助け合いながら楽しく暮らしている | 1-1 医療、保健、福祉が連携し、安心して暮らせるまち 1-2 支え愛、助け愛で、人にやさしい福祉サービスが得られるまち 1-3 地域の人々が協働で築く、安全安心なまち 2-1 地場産業が元気で生きがいを持って働けるまち 2-2 ブランド化を推進し、選ばれるための魅力を創出するまち 2-3 起業家を支援し、新たな産業と働く魅力を創出するまち 2-4 原子力と共生し、関連産業を育てるまち 3-1 快適で住みやすく、移り住みたくなるまち 3-2 個性ある地域資源をいかした。あたたかい活気のあるまち 3-3 地域交通ネットワークが整備され、利便性の高いまち 4-1 豊かな自然環境を、次世代に引き継ぐまち 4-2 低炭素社会の実現を推進し、環境を支えるまち 4-3 廃棄物の削減・再利用・再活用を推進し、循環型社会を実現するまち 5-1 安心して子育てでき、子どもが元気に育ちあうまち 5-2 学校・家庭・地域が連携し、社会に求められる人材を育成するまち 5-3 生涯を通じて、多様な活動が手軽に楽しめるまち | |

3.3 SDGs との対応

SDGs は 17 のゴールと 169 のターゲットからなる。17 テーマ (図 2) を積み上げてウェディングケーキに見立てる分類がある。

・自然圏(6. 安全な水とトイレを世界中に、13. 気候変動に具体的な対策を、14. 海の豊かさを守ろう、15. 陸の豊かさを守ろう)、

・社会圏(1. 貧困をなくそう、2. 飢餓をゼロに、3. すべての人に健康と福祉を、4. 質の高い教育をみんなに、5. ジェンダー平等を実現しよう、7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに、11. 住み続けられるまちづくりを、16. 平和と公正をすべての人に)、

・経済圏(8. 働きがいも経済成長も、9. 産業と技術革新の基盤をつくろう、10. 人や国の不平等をなくそう、12. つくる責任 つかう責任)

・協働(17. パートナリシップで目標を達成しよう)を頂点に置く

という分類である。人類が暮らす自然の中に社会を形成して、生活のために経済を動かしながら、協働するという見方と解釈できる。

表 2 にある自治体・機関の方針・政策にある個別のテーマは、SDGs 個別のテーマあるいは複合したテーマとして位置付けることができる。一つの施策や活動は、開始から終了までの間に複数のテーマに関係すると考えられるが、それぞれの段階で対応する SDGs のテーマとして記述することができる。すなわち各ゴールは互いに関係している。

実際に自治体が全体として先進的に取り組む例として、内閣府が認定している SDGs 環境未来都市がある。「持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組の推進に当たり、SDGs の理念を取り込むことで、政策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待できるため、SDGs を原動力とした地方創生(地方創生 SDGs) を推進している」(引用⁵⁾)。

北近畿においては、舞鶴市、京丹後市が SDGs 未来都市に認定されている。それぞれの HP に説明があり^{vii-viii)}、対応する事業を行っており、対応する組織が編成されている。

4. 地域の課題を解決する仕組み

4.1 各自治体を始めとする地域の連携

個別の自治体の人口動向、市町内総生産、産業構造、維持・管理に大きな資源を要する機器・システム、行政区をまたぐ防災システムなどを考えると、前述 2.2 のように連携が不可欠と思われ、実際、これにより京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会が設立されている。

これは北近畿地域を対象範囲に含んで活動している機関の対象地域と理念(表 2)に沿うものであり、自治体の方針・政策とも整合性を持つ。

各自治体の政策・施策、各機関の個別の活動を、4 つの観点(前出 3.1)と SDGs のテーマに対応付けると、次のようなことが分かる。

1) 北近畿地域内のステークホルダーの活動の全体像を描くことができる。

2) 個別の活動プロジェクトの全体における位置づけと他プロジェクトとの関係を明示できる。

3) プロジェクトの優先順位や他機関との連携を考える資料となる。

4) プロジェクトの推移に伴う活動内容の変化を、全体の中で位置付けて追跡把握できる。

5) 他地域の SDGs プロジェクトの良い先行例と関連付ければ、より実現可能なプロジェクトを計画・実行できる。

4.2 地域連携プラットフォームの役割

連携を具体的な協働に変えるための枠組みは地域連携プラットフォームと呼ばれ、地域の課題解決を行う中核的な組織として位置付けられる。課題は少子高齢社会、安全・安心、環境・エネルギーに大別できて、地域が自ら発見して解決することで持続性が担保される。

その仕組みを 2019 年時点での例として図 3 に示す。地域プラットフォームは中央の産学共創システムに相当する。下部のプロジェクト推進連携体制は地域のステークホルダー等からなり、右側の矢印に沿って、調査・ターゲットの設定・プロジェクトの作成が行われる。この際、地域の課題と将来の姿を基にして、バックキャスト型の研究課題を設定する。

プロジェクトを創り出しまとめるような全体の活動の流れをここでは産学共創シナリオと呼ぶ。個別の研究課題は、前出 3.1 の 4 つのテーマに分類され、その位置づけができる。また地域の持つシーズとのマッチングにより、課題の実現性と優先度などが把握できる。

これらの成果は、KPI などによる検証を経て、連携体制のメンバーと住民に提示され、地域における集合知・暗黙知としてノウハウが蓄積され、課題解決の地域のポテンシャルが向上する循環ができる。

4.3 具体的なプロジェクトについて

舞鶴市の小規模河川の水位の監視と予測システムの事例を示す。舞鶴市、KDDI(株)、舞鶴高専との協定に基づくプロジェクトである。高専は水位の監視データ、3次元地理情報の収集、水位予測システムの開発などを行う。

前節の具体例としてプロジェクトの全体構想を図 4 に示す。プロジェクトの実施主体を舞鶴高専・舞鶴市・舞鶴市民として、参加するステークホルダーは協力機関となって地域全体で取り組む。参加主体が持つ課題と解決法が示され、グループ分けとプロジェクトの計画・スケジュールが示されている。これらは図 3 中の地域プラッ

北近畿の多自然地域の中で充実して生きる社会の実現

・拠点ビジョン 中山間・沿岸に住まう人々が自ら課題解決する

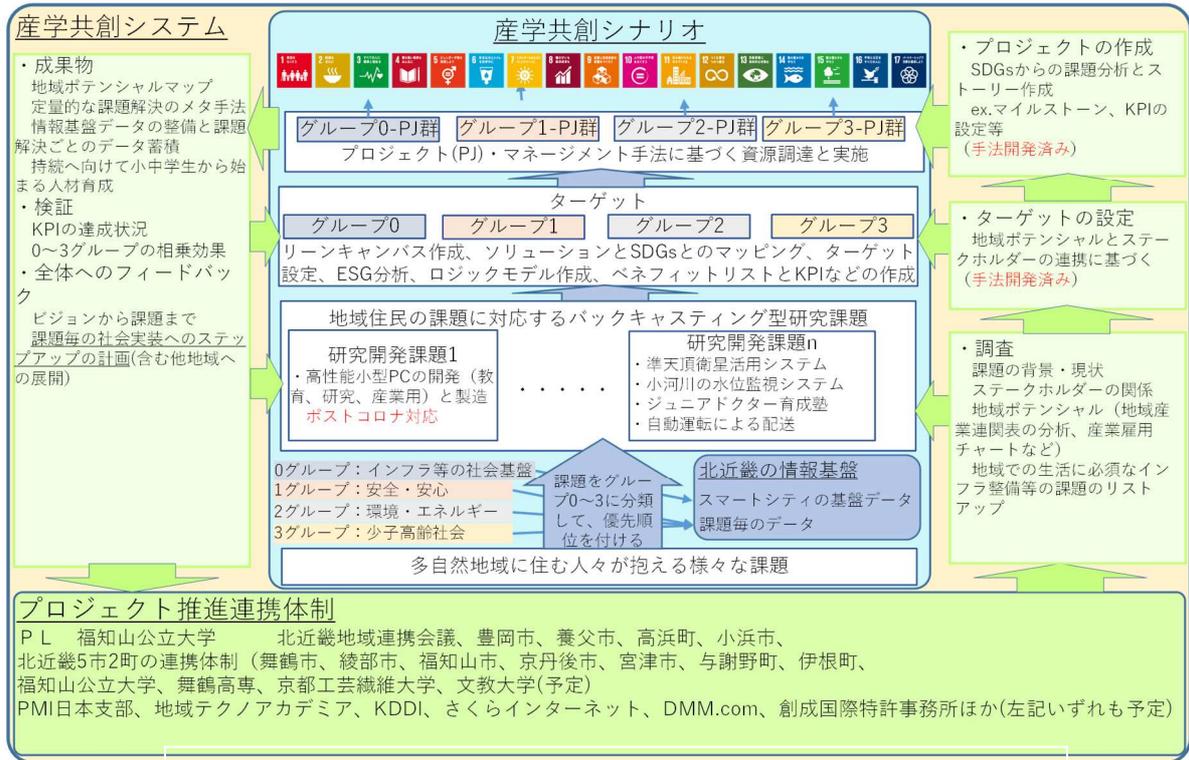


図3 地域プラットフォームの活動の仕組みの例

solution by 舞鶴高専 舞鶴市 KOSEN型ソリューションによる持続的な防災まちづくり

背景 気候変動に伴い局地的豪雨による小規模河川流域の浸水被害が増大し、基礎自治体レベルの防災力強化が必要
高専が地域と一体化して解決策を見出し、全国51高専へモデル展開するKOSEN型ソリューションでSDGsを達成

課題 市職員による現地での目視確認に頼っており小規模河川のリアルタイムの水位情報および市職員減少で危機管理人員が不足している
コミュニティレベルでの危険度が不明なため防災情報への信用度が低い
情報リテラシーが低い世代に情報が届かない
リアルタイムでの危機感や防災リテラシーの不足から避難行動を行わない
防災情報が適切な避難行動に繋がらない

解決 小規模河川に水位計測機器を設置し、リアルタイムの情報に基づき詳細なメッシュで洪水予測を行うシステムを構築・運用する
市民に対して、コミュニティレベルで、河川の水位予測や浸水危険度評価等の防災情報を配信するシステムを構築・運用する
防災リテラシーの向上と、配信される防災情報を活用して適切な避難行動に繋げるための防災教育を実施し防災人材を育成する

事業構想：予測 - 配信 - 教育が一体となることで、安心・安全な防災まちづくりを持続する仕組みを実現する

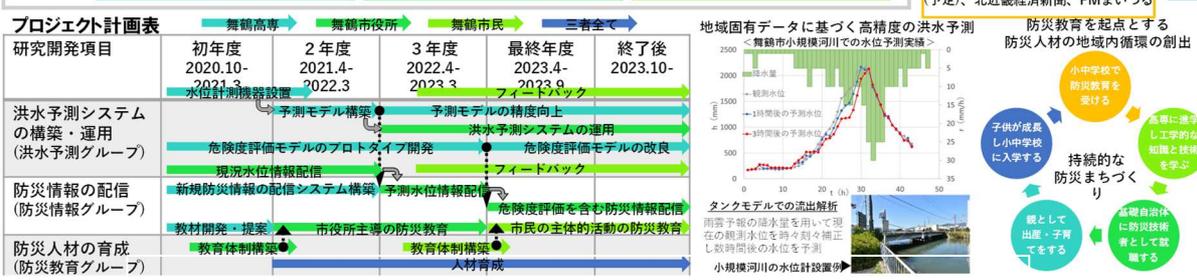


図4 舞鶴市の小規模河川の水位の監視と予測システムの全体構想

トフォームから始まる流れに沿って提案されている。

なお、同市は防災全体を対象として、総合モニタリング情報配信システム^{ix)}を開発・設置しており、舞鶴高専の水位予測システム開発などの情報を加える予定である^{x)}。

この他に、舞鶴市、地域企業などと、以下のような既存の地域課題への取り組みを開始あるいは検討している。

・IT 農業： 万願寺あまとうの栽培で開発したIT システムと培ったノウハウを、舞鶴かぶせ茶に展開

・IT 漁業： 舞鶴高専とKDDI・KDDI 総合研究所、早稲田大学との宮城県東松島での実績^{xi)}を舞鶴市田井漁港の定置網に応用する

・海上遭難者早期発見システム： 準天頂衛星を活用した位置決めシステムを海洋の事業者の事故対策用に開発する

・有害獣害対策： 中山間地で頻発する被害への対応として、上記の位置決めシステムをクマ・イノシシ・サル等に取り付けて位置を把握して対策を立てる

・高性能汎用小型 PC による IT プラットフォームの構築(プロジェクト AMATERAS)： コロナ禍における半導体不足などに対応するために可能な限り国産化した IT プラットフォームを構築する⁶⁾。

・北近畿でのものづくり： 北京都 PMS(Product Manufacturing Service、一括製造請負)という名称のアライアンスを立ち上げ、上記機器を製造する。

5. おわりに

北近畿地域が持つ課題の分類・整理とSDGsとの関係、地域のステークホルダーが地域の課題を自ら発見・解決していく仕組みと具体例を述べた。

現時点までの活動を通して、以下が重要と考えている。

・地域の課題としてのニーズと、地域の能力 and/or ポテンシャルとしてのシーズの具体的なマッチングをした上で、プロジェクトを構想して、実施を開始する。できないことを新たに立ち上げても成功の可能性は小さい。

・スタートアップする際には、事業を実施、継続できる地域に根差した企業などの存在が必要である。外部の資源に頼るプロジェクトは、その資源が無くなると停滞することが多い。

謝辞：本稿をまとめるにあたり、舞鶴市の有吉央頭氏、小西征良氏、亀井亮介氏、(株)KDDI 総合研究所の宇都宮栄二氏、(株)日進製作所の錦織隆氏、(株)テックスの鈴木直康氏、(一社)京都知恵創造産業の森の松浦太郎氏、田中翔太氏、高専機構研究推

進・産学連携本部の井上卓氏、舞鶴高専の尾上亮介氏、仲川力氏、小林洋平氏、岩木真穂氏に貴重な助言・指摘を頂いたことに深謝申し上げます。

参考文献

- 1) 内海、上野、玉田、加登、高橋、歳弘：北近畿地域の振興と舞鶴高専の役割について、舞鶴高専紀要、(2021)
- 2) 第2期京都府北部地域連携都市圏ビジョン、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会、https://www.pref.kyoto.jp/kikakuriji/news/documents/5_honbun.pdf、(2022.1.4 時点)を基に 2022 年 1 月時点で入手できるデータを調査した
- 3) 平成 29 年度きょうとの市町村民経済計算推計結果概要 経済活動別市町村内総生産、統計京都 2020 年 12 月号 pp8-9、<https://www.pref.kyoto.jp/tokei/monthly/tokeikyoto/tk2020/tktokushu202012.pdf>、(2022.1.4 時点)
- 4) International WELL Building Institute, IWBI <https://www.wellcertified.com/>、あるいは <https://www.wellcertified.com/certification/v2/>。日本語の説明は、「WELL とは」(Green Building Japan(gbj.or.jp))、https://www.gbj.or.jp/well/about_well/(2022.1.4 時点)
- 5) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 地方創生 SDGs 「環境未来都市」構想、<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/index.html>、(2022.1.4 時点)
- 6) 内海、鈴木、仲川、井上、福野、IT プラットフォームの構築プロジェクト AMATERAS (Advanced Massive Architecture of Technology, Education and Research Accelerating System)、舞鶴高専紀要、(2021)、および <https://amateras.tech/>、(2022.1.8 時点)

註

- i) https://www.kosen-k.go.jp/nationwide/allkosen/all_kosen_linkmap.html、(2022.1.4 時点)
- ii) <https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/0000004818.html>、(2022.1.4 時点)
- iii) GBA、<https://www.go-gba.org/>、(2022.1.4 時点)
- iv) GBJ、<https://www.gbj.or.jp/gbj-introduction/introduction-from-pdf/> (2022.1.4 時点)
- v) LEED、https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/、(2022.1.8 時点)
- vi) CASBEE、<https://www.ibec.or.jp/CASBEE/>、(2022.1.8 時点)
- vii) 舞鶴市 SDGs 未来都市計画、https://www.city.maizuru.kyoto.jp/cmsfiles/contents/0000005/5338/SDGs_miraitoshikeikaku.pdf、(2022.1.4 時点)
- viii) 京丹後市、<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/seisakukikaku/SDGs/14969.html>、(2022.1.4 時点)
- ix) 舞鶴市総合モニタリング情報配信システム、<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/kurashi/0000008845.html>、(2022.1.4 時点)
- x) 広報まいづる 2021 年 8 月号、<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000008/8825/202108021837015.pdf>、(2022.1.4 時点)
- xi) 総務省、戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE) 「局所的海洋データを活用した漁業の効率化の研究開発」2017~2019 年

(2021.12.10 受付)